

1. 教室の沿革

1 - 1. 東京大学医学部と神経内科の沿革

葛原 茂樹

I. 東京大学医学部沿革と東京帝国大学医学部脳研究室発足まで

1858年（安政5年）5月	江戸市中の蘭医82名の醸金により神田御玉ヶ池に種痘所設立 —東京大学医学部の起点
1860年（万延元年）10月	幕府直轄の種痘所となった。
1861年（文久元年）	西洋医学所、
1863年（文久3年）	医学所、
1868年（明治元年）	大病院、
1869年（明治2年）2月	医学校兼病院、
1869年（明治2年）12月	大学東校と改称
1871年（明治4年）7月	文部省が設置され、大学東校は、東校と改称 以後、第一大学区医学校、東京医学校と改称
1876年（明治9年）	東京医学校は本郷に移転
1877年（明治10年）4月	東京医学校は、東京開成学校と合併し東京大学となり、東京医学 校は、東京大学医学部となった。
1886年（明治19年）3月	東京大学が帝国大学となり、東京大学医学部は、帝国大学医科大 学となった。
1897年（明治30年）6月	帝国大学は、東京帝国大学となった。
1902年（明治35年）2月	日本神経學會設立（発起人：東京帝国大学大学教授 三浦謹之助 （内科学講座）、呉秀三（精神医学講座））。神経學雑誌創刊。 —日本神経学会（1960年設立）の源流
1919年（大正8年）4月	学部制が敷かれ、医科大学は医学部となった。
1935年（昭和10年）10月	日本神経學會を日本精神神経學會と改称

II. 脳研究室発足から脳研究施設官制化、臨床研究部門発足まで

1936年（昭和11年）1月	医学部脳研究室発足（堀越久三郎氏の寄付金による） —脳研究施設と神経内科の原点
1947年（昭和22年）10月	東京帝国大学を東京大学と改称（帝国大学令等を改正）
1953年（昭和28年）7月	官制化に伴い、医学部脳研究室を医学部附属脳研究施設と改称
1954年（昭和29年）	精神神経学会が精神医学部門と神経学部門の2部門制になる。
1957年（昭和32年）	脳研究施設に臨床研究部門発足（主任：椿忠雄助教授） —東大神経内科の源流

1958年（昭和33年）5月	東京大学医学部創立百年記念式典挙行
1960年（昭和35年）4月15～16日	日本臨床神経学会設立（幹事長 沖中重雄）. 第1回日本臨床神経学会開催（勝木司馬之助会長，福岡市）. 学会誌として臨床神経学創刊.
1961年（昭和36年）4月	精神神経学会は，第58回総会において神経学部門は日本臨床神経学会が継承し，精神神経学会は精神医学的側面を主とする方針を承認. 昭和37年5月の第59回総会で定款改正で2部門制を解消.
1962年（昭和37年）10月	第一回アジア大洋州神経学会開催（沖中重雄会長，日本都市センター）
1963年（昭和38年）	日本臨床神経学会から日本神経学会に改称

Ⅲ. 脳研究施設臨床研究部門拡充と附属病院神経内科開設

1964年（昭和39年）	医学部脳研究施設臨床研究部門拡充により教授職設置（時実利彦・脳研究施設長の多大な尽力による）
1964年（昭和39年）11月16日	臨床研究部門初代教授として豊倉康夫教授就任 —現在の東大神経内科の原点 医学部附属病院に診療科として神経内科を開設. 豊倉康夫教授が神経内科長を併任.
1965年（昭和40年）4月18日	外来診療開始，研修医の教育開始
1965年（昭和40年）11月5日	病棟を旧眼科病棟（1896年竣工の木造）に開設
1965年（昭和40年）11月30日	医局を外来から病棟（病室の隣）に移動
1966年（昭和41年）9月	医学部三号館が竣工
1967年（昭和42年）2月6日	医学部三号館5階に教授室，助教授室，研究室を移転整備
1970年（昭和45年）6月5日	病室を北病棟9階に移転
1971年（昭和46年）4月	豊倉康夫教授，会長として第12回日本神経学会総会主催（会場品川文化会館）
1973年（昭和48年）7月6日	医局を内科第一研究棟2階（旧内科病棟，現在の生化学実験室）へ移転
1974年（昭和49年）10月26日	神経内科開設10周年記念行事（東京大学医学図書館3階会議室）：沖中重雄名誉教授，椿忠雄教授，黒岩義五郎教授の講演，地下食堂で祝賀会
1975年（昭和50年）6月25日	医師法改正により，神経内科が正式標榜診療科名になる. 東大正門前のいろは寿司で内輪の祝宴.
1975年（昭和50年）6月	日本神経学会認定医制度にもとづく第一回認定医試験実施，7月に専門医43名を認定
1981年（昭和56年）9月20～25日	第12回世界神経学会，京都にて開催
1984年（昭和59年）1月	研究室を医学部三号館5階から7階に移転
1984年（昭和59年）3月	豊倉康夫教授定年退官
1984年（昭和59年）4月	萬年徹教授就任

1986年（昭和61年）	教授室，助教授室，医局，図書室を第一研究棟2階から東研究棟（旧・伝染病棟）1階に移転。研究室を医学部三号館から第一研究棟2階，東研究棟1階に移転。
1991年（平成3年）3月	萬年徹教授定年退官
1991年（平成3年）4月	金澤一郎教授就任
1991年（平成3年）5月	萬年徹教授，会長として第32回日本神経学会総会主催（会場：日本教育会館他）
1991年（平成3年）9月	第8回アジア大洋州神経学会（豊倉康夫会長，京王プラザホテル）
1994年（平成6年）7月	外来が旧外来棟（現在の管理棟）地下から新外来棟2階内科へ移転。同時にナンバー内科／外科体制から診療科の縦割り再編成。
1994年（平成6年）11月4日	神経内科30周年記念行事（東京大学山上会館）

IV. 大学院重点化と医学部改組，脳研究施設の廃止，法人化

1997年（平成9年）4月	医学部の大学院講座制への移行に伴い，脳研究施設臨床医学部門は大学院医学系研究科脳神経医学専攻臨床神経精神医学講座神経内科学に改組。この改組に伴い，脳研究施設が廃止された。
2001年（平成13年）4月	病棟を北病棟9階より現在の入院棟A13階南に移転
2001年（平成13年）5月	金澤一郎教授，会長として第42回日本神経学会総会主催（会場 東京ビックサイト）
2002年（平成14年）3月	金澤一郎教授任期満了退職
2002年（平成14年）4月	辻省次教授就任
2003年（平成15年）9月	医学部附属病院に中央診療部門（現，中央施設部門）として臨床ゲノム診療部発足（院内措置）
2004年（平成16年）4月	国立大学法人化により，東京大学は国立大学法人東京大学となった。
2004年（平成16年）11月6日	神経内科40周年記念行事（東天紅）
2008年（平成20年）5月	東京大学医学部・医学部附属病院創立150年記念式典挙行
2008年（平成20年）7月	大学院研究科に寄付講座として分子脳病態科学発足
2010年（平成22年）5月	辻省次教授，会長として第51回日本神経学会総会主催（会場 東京国際フォーラム）
2011年（平成23年）5月	臨床研究部門にゲノム医学センター設立。既存の臨床ゲノム情報部，臨床ゲノム診療部をそれぞれ，部門と名称変更し，新たに最先端臨床研究センター内に設置したゲノム解析部門を加え，ゲノム医学センターとして統合された。
2014年（平成26年）6月	寄付講座分子脳病態科学終了
2014年（平成26年）9月27日	神経内科開設50周年記念行事挙行（学術総合センター一橋講堂，学士会館）